

## 専門性の向上に努め、優しさと活力のある学校を

校長 乙部 理佳代

この度の定期人事異動で着任いたしました。当校には今回が3度目の赴任になります。教員生活の半分近くをお世話になっている当校で、また皆さんと一緒に過ごすことができ、本当に嬉しく思います。多くの特別支援学校が総合化される中で、当校は希望が丘こども医療福祉センターとの深い連携のもと、肢体不自由教育専門の特別支援学校として歩み続けております。昨年度開設された高等部には、本年度たくさんの入学生があり、高等部の生徒数は倍増となりました。小学部・中学部・高等部の一貫した教育の実践と、自立と社会参加に向けた進路支援ができる学校として一人前になれたような気がします。しばらく中断していました校舎建築も動き出します。施設面ではご迷惑をおかけすることがありますが、中身の充実にも努め、専門性の高い教育実践ができる学校として職員一丸となって努力したいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 教育目標「明るく 元気に 生き生きと」に向かって

当校の教育目標は「明るく 元気に 生き生きと」です。児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を実践する中で、健康な身体と豊かな心を育てること、基礎的・基本的な学力や思いを表す表現力を伸ばすこと、仲間とともに意欲的に活動できる社会性を高めることを3つの重点として取り組んでまいります。一人一人かけがえのない大切な児童生徒が、学校生活でも明るく元気に生き生きと活動でき、将来も変わらず明るく元気に生き生きと生活できる力を付けることを目指しております。

そのため、小学部段階ではいろいろなことにチャレンジし、身体や心を揺さぶる活動や体験をたくさん経験してほしいと考えます。中学部段階では自分の周りの事物に興味や関心を持ち、積極的にかかわる中で得意なことや頑張れることを見付けたり増やしたりしてほしいと願います。そして高等部段階では自分らしさを作り上げ、自己決定する力を付けながら進路実現につなげてほしいと思います。

### 本年度の課題

高等部開設に伴い60人前後を推移していた児童生徒数が近年急激に増加し、本年度は80人に届きそうな数となりました。互いに助け合ったり認め合ったりしながら生活や学習する上では、豊かな集団が形成できることを嬉しく思います。他方、教職員数も劇的に増え、昨年度と本年度に転入してきた教職員が半数を占めることとなりました。このような状況であっても、当校は肢体不自由特別支援学校としての専門性を発揮した教育を提供しなければなりません。各々の教職員が専門性の向上に向けて努力することが喫緊の課題です。同時に当校が長年に亘り積み上げてきた優しさと活力のある教育も伝承していきたいと思っております。

本年度の当校の課題としましては、一人一人の児童生徒の実態や状況を的確に捉え、教育的ニーズに即した指導目標と指導内容を設定し、教材教具の選択や機器の活用を含めた支援方法の工夫に努め、児童生徒のより豊かな成長や発達を推進していくことです。そのためには、今一度基本に立ち返り、日々の授業を見つめ直し、小学部・中学部・高等部一貫性のある授業実践や、ねらいを明確にした授業づくりに拘ってみたいと考えます。

学校の主人公である児童生徒一人一人が、できたよ、分かったよ、感じたよ、伝わったよなどと実感できる児童生徒ファーストの学校を目指します。

関係各位の皆様には、さらなるご支援ご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

(平成29年4月1日)